

【説明資料(提出ファイル)】 発明・工夫作品コンテスト 製作の動機または目的, 利用方法, 作品自体やその製作過程で工夫したことを, 文章, 写真, 図などで説明。この用紙 1 枚に記入し, PDF に変換した後, web 提出フォームにて提出する。

学校名	釧路公立大学	個人・グループ名	西川 奏	作品名	マタニティポケット
-----	--------	----------	------	-----	-----------

目的

女性にとって、妊娠・出産というものは大きな期待を持つと同時に、大きな不安を抱える要因となりうる。特に初めて妊娠を経験する女性に多くは、妊娠に関して男性と同等の知識しか持っていないことから、さらに不安を抱えることもあり、知識のなさから自身の分娩時期を見誤り、特に地方の妊婦などは長距離移動中に車内分娩に至ることもある。

そのため、マタニティの妊娠期における受療行動を支援するアプリケーションを開発した。

開発内容

アプリケーションでは、出産予定日を入力することによって、現在の妊娠週数に応じた情報・知識を得ることができる他、妊娠中に気を付けるべきことなどの普遍的な知識を学習することのできる学習機能を持たせることによって、マタニティに知識を与えながら妊娠初期から妊娠後期にかけて継続的に使える設計にした。(図 1)

また、陣痛が始まる 9 ヶ月以降のマタニティは陣痛時間を計測することによって、その陣痛が前回陣痛か分娩陣痛かの判別をし、お産が近いかを調べるが、今まで陣痛を経験したことのないマタニティの不安を解消するため、陣痛時間の計測を行った際にうさぎ看護師が陣痛と陣痛の合間の時間である

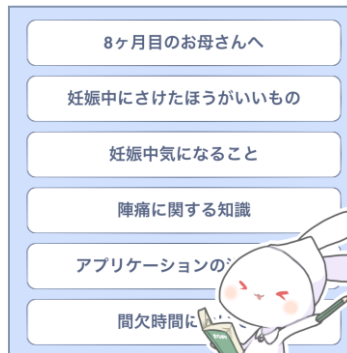


図 1 学習項目一覧



図 2 陣痛時間計測画面

間欠時間の規則性を判別し、評価をする機能を備えたことに加えて、陣痛時間と間欠時間の規則性をグラフ表示によって視覚的に閲覧可能にした。(図 2)



図 3 検診・陣痛データ閲覧機能



図 4 電話帳機能

その他、記録した陣痛データの閲覧や、妊娠検診のデータを入力・閲覧できる機能(図 3)、緊急時に予め登録しておいた電話番号にワンタップで電話をかけることのできる電話機能(図 4)などを有した。

これらの機能によって、マタニティが安心し、安全にお産に臨むことができると考えられる。

まとめ

従来紙媒体で行っていたものをアプリケーションにするにあたって、アプリケーションにのみ行える機能を備えること、スマートフォンに慣れていないマタニティでも使いやすくすることに重点を置き、多機能ながらもほとんどの機能をワンタップで操作できるようにした。

多くの女性は、我が子を授かるということに対し、大きな希望と期待を抱いていることだろう。その期待を裏切らないためにも、マタニティに対する支援というものは必要であると私は考える。一人でも多くの女性が、元気な我が子に出会えるように、これからも開発を進めていきたい。